

ALES DYNAMIC SEALER MILD

F★★★★★

ホルムアルデヒド登録認定商品

特化則対応

ターペン可溶2液形高性能多用途エポキシシーラー

アレスダイナミックシーラーマイルド

白

透明

高い浸透力で脆弱な下地層内から補強。
塗装が難しい特殊な無機下地にも強力に付着します。

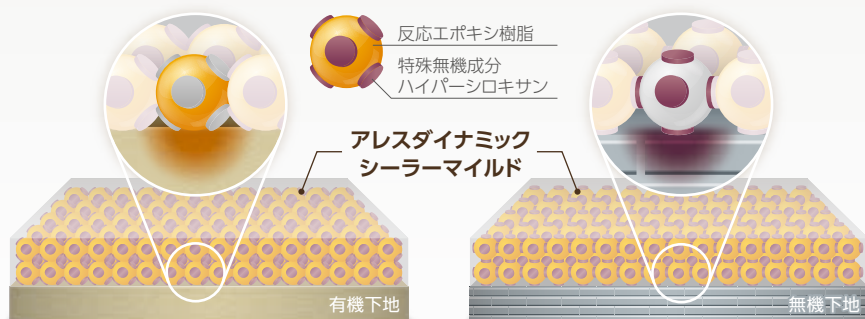
超強力な付着
幅広い素材適性

ALES DYNAMIC SEALER MILD

高い浸透性
高仕上り性

高性能・多用途を実現したテクノロジー

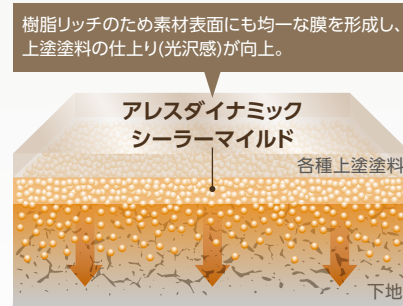
付着性



プラスチック素材や旧塗膜などの有機下地には反応エポキシ樹脂が結合して強力に付着

無機系樹脂や光触媒処理された窯業サイディングボードなどの無機下地には、特殊無機成分「ハイパーシロキサン」が結合して強力に付着

浸透性



反応エポキシ樹脂の高い浸透力と毛細管現象で新生瓦など脆弱な下地層内から頑固に強化。

アレスダイナミックシーラーマイルド

反応形成樹脂シーラーおよび弱溶剤系反応形成樹脂シーラー JASS 18 M-201 適合品

特長

■ 超強力な付着

特殊無機成分が無機下地と強固に結合し、一般面(有機下地)も含め幅広い素材適性を有します。(無機塗装系にも対応可能)

■ 幅広い素材適性

窯業サイディングのほか、無機系素材やプラスチック系素材、各種旧塗膜との付着性に優れます。

■ 高い浸透性

新生瓦などの脆弱層に深く浸透し、下地を強化します。

■ 高仕上り性

高い浸透性を持ちながら素材表面に均一な膜を形成するため、上塗料の仕上りが向上します。

標準塗装仕様

工程	塗料名・処置	希釈率(%)	塗装回数	標準所要量(kg/m ² /回)*1	塗装方法	標準塗装間隔(23℃)	
1	新設	エフロ・レタタン・ゴミ・汚れなどは、ワイヤーブラシ・サンドペーパー・ウエスを使用して除去し、乾燥した清浄な面とする。(ブロックやALCなど吸込みの著しい素材の場合、フィラー処理などが必要)					
	塗替	素地の不具合部に適切な補修を施す。劣化塗膜や脆弱な化粧層、チョーキング層、汚れなどの異物は、高圧水洗やワイヤーブラシなどを用いて入念に除去し、十分に乾燥させる。					
2	下塗	アレスダイナミックシーラーマイルド (ベース/硬化剤=5/1)	0 (無希釈)	1~2*2	0.1~0.2	ハケ・ローラー エアレス	4時間以上7日以内
3	上塗	下記の各種上塗塗料(所要量、塗装回数、塗装間隔、塗装方法などはそれぞれ各塗料の条件に従ってください)					

*1 コンクリート面への標準所要量を記載しています。素材・塗装方法・環境などにより増減します。特に劣化したスレート屋根などでは5割以上増加することがあります。 *2 劣化した吸込みの著しい素材の場合、2回塗りしてください。
*3 押出成形板やFRP板、良好な旧塗膜面で吸込みの少ない場合は必要以上に塗り込まないでください。ハンキ等の原因となります。
*4 乾燥過程で水(結露、降雨等)の影響を受けると白化することがあります。この場合は表面を研磨して白化層を取り除いてから上塗を塗装してください。

■ 荷姿：15kg(ベース12.5kg、硬化剤2.5kg) ■ 混合比：ベース/硬化剤=5/1 ■ 色：白(N-85近似)、透明(淡黒色透明)

適用下地・旧塗膜

【適用下地】

窯業系サイディングボード*1

● 無機系素材

コンクリート・モルタル、スレート板、ALC、押出成形板、GRC板、PC板、
けい酸カルシウム板、新生瓦*2、波形スレート*2、ホーロー面、磁器タイル面*3

● プラスチック素材

硬質塩ビ*4、FRP板*4

*1 無機系樹脂、光触媒処理、フッ素樹脂、シリコン樹脂など特殊な樹脂で処理されたボードでも塗装できます。
*2 スレート屋根材には透明タイプをお勧めします。 *3 ラスタータイル面への施工はできません。
*4 塗装前に表面荒しが必要です。

【適用旧塗膜】

リシン、スタッコ、吹付タイル、弾性塗材、アクリル樹脂系塗料、ウレタン樹脂系塗料、
シリコン系塗料、フッ素樹脂系塗料、塩化ビニール樹脂塗料、エマルジョン塗料 など

上塗可能塗料

【水性系】

アレスダイナミックMUKI、アレスダイナミックTOP、水性ゾラコートEX中塗、
アレススクールプラスウォール水性Si、アレスアクアレタン、アレスアクアグロス、
シリコンテックス、ピニデラックス各種、アレススクール水性F、水性Si、アクアヤネ
シリコン など

【溶剤系】

セラMフツツ、セラMシリコンⅢ、セラMレタン、カンペ1液MレタンHG、アレスセ
ラマイルド、アレススクール2液F、2液Si、1液Si、ヤネMシリコン、スーパーシリコ
ンルーフペイント など

*上塗にアレスレタンなど強溶剤形塗料は塗装できません。
その場合はマルチタイルコンクリートプライマー-EPOをご使用ください。

施工上の注意事項

◎本注意事項及びご使用になる上塗のリーフレットに記載の注意事項を必ずご確認くださいの上、施工を行って
ください。

- ① ベース、硬化剤は正確に計量し、電動攪拌機を用いて、よくかき混ぜてからご使用ください。
- ② 2液形塗料のためベース/硬化剤混合後、23℃(7時間以内)、5℃(12時間以内)にご使用ください。
- ③ 本品は無希釈でご使用ください。
- ④ 吸込みが大きい素材、劣化が著しい素材・旧塗膜には透明タイプをお勧めします。
- ⑤ 上塗塗料の塗装は、透けや塗り残しがないようご注意ください。特に赤や青等の鮮やかな塗色は透けやすいため、紫外線の影響を受けると白化することがあります。白化した場合は軽く表面を研磨するなどの処置をしてから次の工程に移ってください。
- ⑥ 使用後塗装用具の洗浄には、ラッカーシンナー又はエポキシシンナーをご使用ください。
- ⑦ 本品は乾燥過程で水(降雨、結露等)の影響を受けると白化することがあります。白化した場合は軽く表面を研磨するなどの処置をしてから次の工程に移ってください。
- ⑧ 塗料が皮膚に付着すると、カブレを起こすことがありますので、皮膚に付かないように取り扱ってください。
- ⑨ 低温時(5℃以下)、多湿時(85%以上)、降雨、降雪の予想される時は、施工を避けてください。

ご使用上の注意事項

下記の注意事項を守ってください。詳細な内容については安全データシート(SDS)をご参照ください。

取り扱い作業中・乾燥中ともに換気の良い場所で使用し、粉じん・ヒューム・ガス・ミスト・蒸気・スプレーを吸入しないこと。必要な保護具(帽子・保護メガネ・マスク・手袋等)を着用し、身体に付着しないようにすること。
吸入に関する危険有害性情報の表示がある場合、有機ガス用防毒マスク、又は、送気マスクを着用すること。又、取り扱い作業場所には局所排気装置を設けること。
皮膚接触に関する危険有害性情報の表示がある場合、頭巾・スリッパ・長袖の作業着・前掛けを着用すること。
火気と避けること。静電気放電に対する予防処置を講ずること。
火災を発生しない工具・防爆型の電気機器・換気装置・照明機器等を使用すること。
裸火又は高温の白熱体に噴霧しないこと。
本来の目的以外に使用しないこと。
指定材料以外のものとは混合(多液品の混合・希釈等)しないこと。
缶の取っ手を持って振り回し、取っ手をロープやフックで吊り下げたりしないこと。
取り扱い後は、洗顔、手洗い、うがい、及び、鼻孔洗浄を十分行うこと。
使用済みの容器は、火気、溶接、加熱を避けること。
本品の付いた布類や本品のかす等は水に浸して処分すること。

- ⑩ 劣化が大きい場合は、下塗を1回増し塗りしてください。
- ⑪ サイディングボードに既に反り、欠落、フレ、変形が発生している場合には、サイディングボードを取り替える必要があります。
- ⑫ シーリング材とサイディングボードとの接合面に、剥がれ、ウキが認められる場合には、シーリング材を打ち直してください。
- ⑬ シーリング面への塗装は、シーリング材の種類、使用条件により塗膜の汚れ、剥がれ、フレが発生する場合がありますので、避けてください。やむを得ず塗装する場合は、シーリング材が完全に硬化後に必要な処理を行ってください。
- ⑭ 軽量モルタル、ALCパネル、高断熱型窯業サイディングおよび発泡ウレタンなどを使用した壁断熱工法[高断熱型外壁]を塗り替える際、旧塗膜が溶剤系アクリルトップである場合は蓄熱や水の影響、塗装後の環境などいくつかの条件が重なることで、塗膜のふくれが生じることがあります。旧塗膜をラッカーシンナー拭きで簡単に塗膜が再溶解する場合は、下塗に[マルチタイルコンクリートプライマー-EPO]を塗装してください。

目に入った場合：直ちに、多量の水で洗うとともに医師の診察を受けること。
皮膚に付着した場合：直ちに拭き取り、石けん水で洗い落とし、痛みや外傷等がある場合は、医師の診察を受けること。
吸入した場合：空気の清浄な場所で安静にし、必要に応じて医師の診察を受けること。
飲み込んだ場合：直ちに医師に連絡すること。無理に吐かせないこと。
漏出時や飛散した場合は、砂、布類(ウエス)等で吸い取り、拭き取ること。
火災時には、炭酸ガス、泡、又は、粉末消火器を用いること。
指定容器を使用し、完全にふたをして湿気のない場所に保管すること。直射日光、雨ざらしを避け、貯蔵条件に基づき保管すること。子供の手の届かない場所に保管すること。又、関連法規に基づき適正に管理すること。
本品の付いた布類や本品のかす、及び、使用済み容器を廃棄するときは、関連法規を厳守の上、産業廃棄物として処分すること。(排水路、河川、下水、及び、土壌等の環境を汚染する場所へ廃棄しないこと。)
施工後は換気性の化学物質を含んでいますので、塗装直後の引渡しの場合は、施工員に対して安全後に十分に注意を払うように指導してください。
例えば、不特定多数の方が利用される施設などの場合は、立看板などでペンキ塗り立てである旨を表示し、化学物質過敏症ならびにアレルギー体質の方が接することのないようにしてください。

関西ペイント販売株式会社

関西ペイントホームページ
www.kansai.co.jp

北海道 TEL(0133)64-2424 FAX(0133)64-5757
東北 TEL(022)287-2721 FAX(022)288-7073
北関東 TEL(028)637-8200 FAX(028)637-8223

東京 TEL(03)5711-8905 FAX(03)5711-8935
中部 TEL(052)262-0921 FAX(052)262-0981
大阪 TEL(06)6203-5701 FAX(06)6203-5603

中国 TEL(082)262-7101 FAX(082)264-3285
四国 TEL(0877)24-5484 FAX(0877)24-4950
九州 TEL(092)411-9901 FAX(092)411-3339

※製品改良のため仕様は予告なしに変更することもございますのでご了承ください。

(19年09月03日PKO) カタログNo.857